

年間授業計画様式

日野高等学校 令和5年度 教科[地理歴史] 科目[日本史B] 年間授業計画

教科：地理歴史 科目：日本史B 単位数： 2単位  
対象学年組： 第3学年（1組～7組）  
教科担当者：（日本史BⅠ：飯田）（日本史BⅡ：飯田）（日本史BⅢ：飯田）  
使用教科書：（『詳説 日本史B』山川出版社）  
使用教材：（『最新日本史図表』第一学習社、『詳説日本史 10分間テスト』山川出版社）

指導内容		科目 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	・第一次世界大戦後の政党政治 ・金融恐慌	・国内の政党政治の変遷を首相に注目して、なおかつ政府の「アメとムチ」の政策を学び、理解する ・日本における「デモクラシー」の動きを、労働運動、社会主義運動、婦人運動などについて着目しながら理解する。	・関心・意欲・態度 ・知識・理解の定着 ・授業における発言、プリント等への取組 等を総合して評価する。	3
	・積極外交と山東出兵 ・世界恐慌と昭和恐慌	・積極外交について学ぶと同時に、協調外交についても留意しながら、昭和初期の恐慌について把握する。	・関心・意欲・態度 ・知識・理解の定着 ・授業における発言、プリント等への取組 等を総合して評価する。	3

		指導内容	科目 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・満州事変</li> <li>・五・一五事件</li> <li>・「満州国」の承認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満州事変以降の軍部の台頭を中国との関係性に留意しながら理解する。</li> <li>・全体主義の台頭や日本国内での軍部の台頭など第二次世界大戦へとつながる日本の動向について考察させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関心・意欲・態度</li> <li>・知識・理解の定着</li> <li>・授業における発言、プリント等への取組</li> </ul> 等を総合して評価する。	3
		・日中戦争	・軍部と内閣の関係を学び、国内政治を把握する。それと同時に、国内の戦時体制の強化について、翼賛政治と軍国主義への批判など多面的な視点で理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関心・意欲・態度</li> <li>・知識・理解の定着</li> <li>・授業における発言、プリント等への取組</li> </ul> 等を総合して評価する。	2
		・中間考査		・考査における知識・理解の定着度	1

		指導内容	科目 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月		・第二次世界大戦の勃発 ・戦時統制	・国内の政治・経済の動きや混乱を世界恐慌の発生などの国際社会との関係性に留意して、全体主義の台頭や日本国内での軍部の台頭など第二次世界大戦へとつながる日本の動向について考察させる。	・関心・意欲・態度 ・知識・理解の定着 ・授業における発言、プリント等への取組 等を総合して評価する。	2
		・日本ファシズム体制の成立	・全体主義の台頭や日本国内での軍部の台頭など第二次世界大戦へとつながる日本の動向について把握する。	・関心・意欲・態度 ・知識・理解の定着 ・授業における発言、プリント等への取組 等を総合して評価する。	3
		・日米開戦 ・太平洋戦争	・これまでの第二次世界大戦と日本の関係性を意識しながら、国内の全体主義と諸外国との戦争への過程を把握する。また「戦場」になった地についても考察する。 ・「戦争」についての学習を通して、人類の過去を知り、「平和」というものについて考察する	・関心・意欲・態度 ・知識・理解の定着 ・授業における発言、プリント等への取組 等を総合して評価する。	3

		指導内容	科目 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月		・期末考査		・考査における知識・理解の 定着度	1
		・大学入試問題演習	・受験に対応するために、多様なパターン の問題に触れ、出題の傾向を知る。	・関心・意欲・態度 ・知識・理解の定着 ・プリント等への取組 等を総合して評価する。	2

		指導内容	科目 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8月					

		指導内容	科目 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月		・日米開戦 ・太平洋戦争	・これまでの第二次世界大戦と日本の関係性を意識しながら、国内の全体主義と諸外国との戦争への過程を把握する。また「戦場」になった地についても考察する。 ・「戦争」についての学習を通して、人類の過去を知り、「平和」というものについて考察する。	・関心・意欲・態度 ・知識・理解の定着 ・授業における発言、プリント等への取組 等を総合して評価する。	3
		・第二次世界大戦の勃発 ・戦時統制	・国内の政治・経済の動きや混乱を世界恐慌の発生などの国際社会との関係性に留意して、全体主義の台頭や日本国内での軍部の台頭など第二次世界大戦へとつながる日本の動向について考察させる。	・関心・意欲・態度 ・知識・理解の定着 ・授業における発言、プリント等への取組 等を総合して評価する。	2
		・日本ファシズム体制の成立	・全体主義の台頭や日本国内での軍部の台頭など第二次世界大戦へとつながる日本の動向について把握する。	・関心・意欲・態度 ・知識・理解の定着 ・授業における発言、プリント等への取組 等を総合して評価する。	3

		指導内容	科目 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月		・日米開戦 ・太平洋戦争	・これまでの第二次世界大戦と日本の関係性を意識しながら、国内の全体主義と諸外国との戦争への過程を把握する。また「戦場」になった地についても考察する。 ・「戦争」についての学習を通して、人類の過去を知り、「平和」というものについて考察する	・関心・意欲・態度 ・知識・理解の定着 ・授業における発言、プリント等への取組 等を総合して評価する。	3
		・中間考査		・考査における知識・理解の定着度	1
		・降伏と敗戦 ・日本の占領	・第二次世界大戦後の政治や経済の仕組みや国民の生活の変容を、国際社会との関係性と関連付けて、理解する。	・関心・意欲・態度 ・知識・理解の定着 ・授業における発言、プリント等への取組 等を総合して評価する。	3

	指導内容	科目 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法</li> <li>・戦後改革 (農地改革、労働改革、教育の民主化)</li> </ul>	・第二次世界大戦後の政治や経済の仕組みや国民の生活の変容を、国際社会との関係性と関連付けて、理解する。とりわけ、日本国憲法については、制定過程や内容について明治憲法との比較をしながら把握する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関心・意欲・態度</li> <li>・知識・理解の定着</li> <li>・授業における発言、プリント等への取組</li> </ul> 等を総合して評価する。	3
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷戦の始まり</li> <li>・占領政策の転換</li> <li>・朝鮮戦争</li> </ul>	・第二次世界大戦後の政治や経済の仕組みや国民の生活の変容を、国際社会との関係性と関連付けて、理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関心・意欲・態度</li> <li>・知識・理解の定着</li> <li>・授業における発言、プリント等への取組</li> </ul> 等を総合して評価する。	2
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講和条約と日米安保条約</li> <li>・55年体制</li> </ul>	・サンフランシスコ平和条約、日米安全保障条約の締結が連合国の占領の終結を意味し、日本の独立の意義について考察する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関心・意欲・態度</li> <li>・知識・理解の定着</li> <li>・授業における発言、プリント等への取組</li> </ul> 等を総合して評価する。	2
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高度経済成長</li> <li>・公害問題</li> </ul>	・高度経済成長期の就業別人口の変化、都市への人口集中などに着目し、国民生活の充実や、同時に起きた公害問題について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関心・意欲・態度</li> <li>・知識・理解の定着</li> <li>・授業における発言、プリント等への取組</li> </ul> 等を総合して評価する。	2

		指導内容	科目 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月		・期末考査		・考査における知識・理解の 定着度	1
		・テーマ史	・受験頻出のテーマ(政治史、外交史など)を問題を通して知る。	・関心・意欲・態度 ・知識・理解の定着 ・授業における発言、プリント等への 取組 等を総合して評価する。	2

		指導内容	科目 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月		・大学入試問題演習	・受験に対応するために、多様なパターンの問題に触れ、出題の傾向を知る。	・関心・意欲・態度 ・知識・理解の定着 ・プリント等への取組 等を総合して評価する。	2

指導内容		科目	の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2月					

		指導内容	科目 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月					